

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 協議会名称

東京都立江北高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

総務部主任（事務局長）、教務部主任、副校長 計3名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長1名、経営企画室長、教務部主任、生徒部主任、進路部主任、保健部主任、総務部主任
計8名

(4) 協議委員の構成

元都立高校校長1名、PTA会長、同窓会会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣町内会役員、警察署少年係長、消防署出張所長 計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 協議会

① 第1回 令和4年6月17日（金） （内部委員8名 協議委員8名）

（ア）協議委員、評価委員の委嘱 （イ）本会設置要綱 （ウ）令和4年度学校経営計画

（エ）令和3年度学校経営報告 （オ）令和3年度協議会報告、学校評価アンケート分析結果

② 第2回 令和4年10月21日（金） （内部委員8名 協議委員6名）

（ア）今年度の取組状況 （イ）防災教育ガイドライン （ウ）いじめ、体罰調査

（エ）学校評価アンケート （オ）感染症対策と今後の教育活動 （カ）部活動見学

③ 第3回 令和5年1月13日（金） 書面開催 （内部委員8名 協議委員8名）

（ア）今年度の取組状況 （イ）学校サポートチーム （ウ）学校評価アンケート結果

（エ）今後の学校行事について （オ）防災教育推進事業実施報告

(2) 評価委員会

① 第1回 令和4年10月21日（金） （内部委員2名 協議委員2名）

（ア）学校評価アンケート評価項目の検討 （イ）今後の予定（日程・回収方法）

② 第2回 令和5年1月13日（金） （内部委員2名 協議委員2名）

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 評価の観点

「学校への理解」「学校への意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケートの実施時期、対象、規模

（実施時期）12月

（対象:規模）生徒：625人 保護者：515人 教職員：59人 近隣住民：6人

※Microsoft Forms を活用しスマートフォン等で回答

(3) 主な評価項目

① 学校生活満足度 ② 授業に関して ③ 生活指導に関して ④ 行事に関して ⑤ 施設に関して

(4) 評価結果の概要並びに分析・考察

別紙のとおり

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・Microsoft Forms を活用しスマートフォン等で回答できるようにし、回答のしやすさや配布回収及び集計の効率化を図った。積極的な呼びかけを行い、回答率は向上した。
- ・感染症防止対策を徹底しながら集合形式での学校運営連絡協議会を開催した。「江北だより」に学校のホームページの QR コードを掲載するなど、協議委員からいただいた意見や助言を取り入れ、学校経営に生かすことができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の「学ぶ意欲」の喚起のための進路指導により一層力を入れることが必要である。
- ・コロナ禍における感染症対策の徹底と学校行事を含む学校運営の両立。
- ・保護者や地域への情報の発信の工夫。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・地域への情報発信として、江北だよりを50部、町会や自治会に配布した。
- ・自主学习室を平日の5日間開室し、学生のチューターを配置し、生徒の学習支援に力を入れた。
- ・感染症対策の徹底を図りながら通常に近い形での学校行事の開催ができた。